

山梨県連合婦人会 令和3年新春のつどい 祝辞

皆さん、こんにちは。県教育委員会教育長の斉木邦彦と申します。本日は山梨県連合婦人会「令和3年 新春のつどい」の開催、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

山梨県連合婦人会は女性ならではのしなやかな視点と細やかなお心配りにより長年にわたり女性指導者の養成、青少年の健全育成や交流、ふるさとづくりの推進など、地域に根ざした活動を幅広く推進しておられます。また県政の推進につきましても格別のご理解とご協力をいただいております、深く感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、家庭や地域の絆を育み、明るい家庭づくりや、住みよい地域づくりに向けて活発な取組を続けられるなど、日頃から地域に根ざした婦人会活動にご尽力いただき、心から敬意を表する次第であります。

県教育委員会では令和元年6月、山梨県教育振興基本計画を策定し、子供たちが個性を生かしながらそれぞれの分野で活躍し、希望に満ちた未来を歩めるよう、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を受けられる環境の実現を目指して取り組んでおります。

今日、社会の在り方や人の生き方に大きな問いが投げかけられております。学校では子供たちが毎日、勉強や部活動に取り組んだり、友だちとの語らいを楽しんだり、その学校生活の様子は三十八年ほど前に私が高校教員になった当時とさほど変わっていないように思います。しかし生徒が自分自身や自分の人生を見つめる眼差しは、いつの間にか大きく変わってきていると感じます。

「個性的な生き方」「自分らしい人生」などの言葉やそれを指南する情報が氾濫し、子供たちは本来の自分に自信が持てず、何をするにもとにかく自分らしくあらねばならないと、次の一歩をなかなか踏み出せないでいるように思えます。

かけがえのない人生を自分のペースで歩む権利が誰にもあります。自分に自信をもって自分の人生を生きるには、地域の中で身近な人と関わり合う経験の積み重ねが大事になります。それは言葉や情報に振り回されず、実際の人間関係の中に生きるという、以前の社会ではごく当たり前の生活であったと思います。

本日お集まりの皆様におかれましては、引き続き「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の各側面から持続可能な社会の構築と子供たちの輝かしい未来に向けて、より一層のお力添えをいただきたいと存じます。

結びに、山梨県連合婦人会の益々のご発展と高村会長様をはじめ会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます、祝辞といたします。本日は誠にありがとうございました。